



1000000人のキャンドルナイト 6月17-夏至の21日 8:00-10:00 p.m.
Turn off the lights. Take it slow. Candle Night Summer Solstice June. 17-21 on the Summer Solstice

2006夏至 活動報告書

でんきを消して、スローな夜を。

私たちは100万人のキャンドルナイトを呼びかけます。

2006年の夏至の日、6月21日夜、8時から10時の2時間、

みんなでいっせいでんきを消しましょう。

ロウソクのひかりで子どもに絵本を読んであげるのもいいでしょう。

しずかに恋人と食事をするのもいいでしょう。

ある人は省エネを、ある人は平和を、

ある人は世界のいろいろな場所で生きる人びとのことを思いながら。

プラグを抜くことは新たな世界の窓をひらくことです。

それは人間の自由と多様性を思いおこすことであり、

文明のもっと大きな可能性を発見する

プロセスであると私たちは考えます。

一人ひとりがそれぞれの考えを胸に、

ただ2時間、でんきを消すことで、

ゆるやかにつながって「くらやみのウェーブ」を

地球上にひろげていきませんか。

でんきを消して、スローな夜を。

呼びかけ人代表

辻 信一	明治学院大学教授
藤田和芳	大地を守る会会長
マエキタミヤコ	サステナ
竹村真一	京都造形芸術大学教授
枝廣淳子	ジャパン・フォー・サステナビリティ共同代表
立松和平	作家
面出薫	照明デザイナー
米谷啓和	日本青年会議所元会長

2006年呼びかけ人一覧 (98名)

鎌田慧 (ルポライター) 庄野真代 (歌手・NPO法人国境なき楽団代表) 小林武史 (音楽プロデューサー/ap bank代表理事) 木村修 (伊賀の里・モクモク手づくりファーム社長理事) 永六輔 (放送タレント) 石川広己 (パンタンコミュニケーションズ代表) 岩波則康 (彩生舎代表) 岩崎照星 (グリーンクロスジャパン理事長) サフィア・ミニ (ビーブルツリー代表) 佐藤芳伸 (大和川酒造店) 北山陽一 (ゴスペラース) 稲葉喜一 (ゼンケン代表) 井口俊之 (井口食品) 及川修 (研空社代表) 藤岡亜美 (スローウォーターカフェ代表) 加納一郎 (建築家・達目洞自然の会事務局長) 阿部珠理 (立教大学教授・NPO法人サイクリング代表) サンブラザ中野 (ロックシンガー) 安村磨作紀 (ミュージシャン、ラッパー)

浜畑賢吉 (俳優・大阪芸術大学教授) 小林悦夫 (ひょうご環境創造協会・副理事長) 堂本暁子 (千葉県知事) 和泉法夫 (日本SGI株式会社代表CEO) 幸田チャーミン (国際連合広報センター・所長) 柴田敬三 (ほんの木代表) 高橋伴明 (映画監督) 高橋恵子 (女優) 鳥原良子 (グリーンコープかごしま生協・理事長) 高木剛 (日本労働組合総連合会・会長) 笹森清 (中央労協・会長) 岡田康彦 (全国労働金庫協会・理事長) 石川太茂津 (全労済・理事長) 菅井義夫 (中央労協・事務局長) 逢見直人 (日本労働組合総連合会・副事務局長) 江森孝至 (日本労働組合総連合会・社会政策局長) 佐々木緑 (日本労働組合総連合会・社会政策部長) 柳下正治 (大学大学院・地球環境学研究所教授) 見城美枝子 (青森大学教授・エッセイスト) 渡邊美樹 (ワタミ株式会社代表取締役社長・CEO) 一ノ宮嘉道 (一ノ宮事務所代表) 緑川芳樹 (グリーンコンシューマー研究会代表) 金井重 (旅人) 近藤正明 (長有研代表) 横川寛 (すかいらく) 山本コウタロー (フォーク歌手・大学教授) 立松和平 (作家) 川人紫 (ハイパーブランド) 木村良樹 (和歌山県知事) 三橋規宏 (経済・環境ジャーナリスト) 小原文夫 (農業) 泉正徳 (旧・本宮町長) 富山和子 (日本福祉大学教授) 高木善之 (ネットワーク『地球村』代表) 増田寛也 (岩手県知事) 稲津恒己 (自然食糧品・グルッペ) 西川栄郎 (安全な食べものネットワークオルター) 白石源次郎 (花の企画社代表) 高野孟 (ざ・こ

もんず主宰者) 泉庄治 (果無) 佐藤喜作 (農業) 大沼勝水上洋子 (アイシスガイアネット) 堀井修 (百姓勝手連・世話人) 本橋成一 (ポレボレタイムス社) 堀田正彦 (オルター・トレード・ジャパン代表) 足立房夫 (協力隊を育てる会) 川上工 (リバーグリーン代表) 宇都宮高明 (三里塚航業代表) 遠藤栄治 (遠藤蒲鉾店代表) 佐藤環、栗原彬 (政治社会学者) 秋川実 (秋川牧園代表) 陽捷行 (北里大学教授) 日下部知世子 (日本スポーツアロマセラピー協会・常任理事) 斎藤京一 (グリーン漢方製薬) 中村靖彦 (東京農大・客員教授) 横田克巳 (生活サポート基金・理事長) 倉垣光孝 (浪漫堂代表) 須田洵 早野透 (朝日新聞コラムニスト) 宮永恒政 (全通代表) 古田菜穂子 (プランニング・ディレクター) 田中優 (未来バンク代表) 秋山ちえ子 (評論家) 森谷龍一 (森谷健康食品) 姜尚中 (東京大学教授) 牛田彰 (カネエエ・あーすワン) 川嶋直 (キープ協会) 加藤登紀子 (歌手) 多田博之 (ジャパン・フォー・サステナビリティ共同代表) 中村隆市 (スロービジネススクール校長) 中島修一 (画家、小説「ガベージ・ファクトリー」著者、種子島在住) 関野吉晴 (旅人) 坂本龍一 (音楽家) 谷崎テトラ (構成作家、音楽家) 土本典昭 (記録映画監督) 島村菜津 (ノンフィクション作家) リー・ボウン パク・ウンジン (韓国女性環境ネットワーク) さとうはなよ (府中商人塾) 明石祥子 (フェアトレード熊本代表)

表記は登録順になります

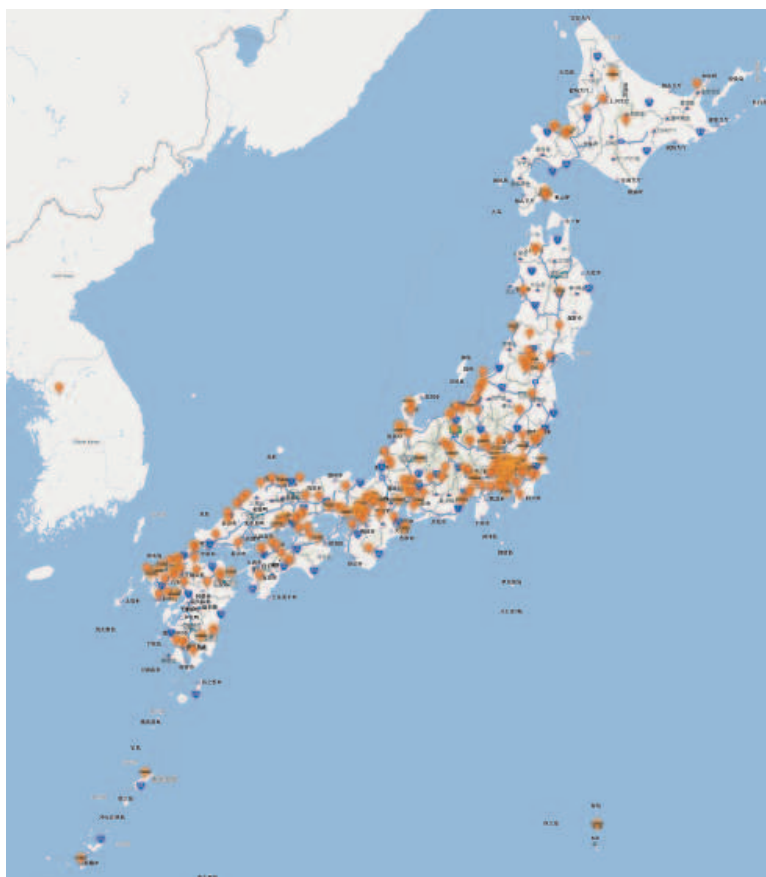
02 Event

イベント

photo by : deluxe.



国内 **473** 箇所



それぞれ独立して運営しています。

ウェブサイト上のイベント登録数は、2004夏至は239箇所、2005夏至は311箇所でした。今年は全国473箇所、さらにオーストラリアや韓国からもイベント開催の情報が集まりました。今年のイベント登録では、Google Mapsを使うことで開催地を地図で確認できるようになりました。また、イベント後に開催報告もできるようになりました。すべてのイベントは独立採算、自発的に発生したイベントです。キャンドルナイトのウェブサイトは、自分の家の近くでもキャンドルナイトをやっていることを知るだけでなく、同じ時に多くの場所でイベントが開催され、人と人が繋がるイメージを可視化しています。

カメラマローソク(株)さんには、100万人のキャンドルナイトがはじまった2003年より、毎年たくさんのキャンドルを提供していただいています。今年も約6500個のキャンドルをいただきました。事務局では、PRグッズのセットということで、イベント登録をした主催者のうちご希望の方に、ポスター・フライヤーと合わせて、このキャンドルを無料にて配布しています(送料のみ負担)。このキャンドルが、イベント主催者の負担を軽減し、全国各地でのイベント開催の一助となっています。

カメラマローソク

DESIGN
Kameyama



キャンドルナイト&オカリナ演奏会 in LOHAS studio熊谷 / 埼玉県熊谷市
癒しのオカリナ演奏会を開催しました。



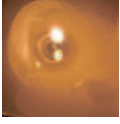
ダジャーモンズーンコンサート2006「虫送り Mushi-Okuri」 / 埼玉県さいたま市
農園めぐり、キャンドル作り、よもぎ団子作り、畑作業をしました。コンサートのあとは、作ったキャンドルを供えた燈籠に火をつけました。詩の朗読、ファイヤーダンスの後は、メインの「虫送り」が行われました。



ホテルの里のキャンドルナイト / 埼玉県東松山市
午後2時からホテルの里で間引いた竹を使って、キャンドルホルダーを作るワークショップを開催。作ったキャンドルホルダーを使ってホテルの里に約100個飾りました。



EPOアコースティックライブ in モエレ沼公園&蜜蝋燭点灯会 / 北海道札幌市
モエレ沼公園では、500名の子どもたちが作ったみつろうソクを点灯。EPOさんと札幌ジュニア・ジャズ・スクールの子どもたちによるアコースティックライブを開催し、ガラスのピラミッド会場には、400名の方が参加しました。



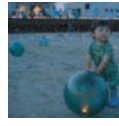
Loveholic magic presents 臙[oboro] / 東京都渋谷区
都会の喧騒からはなれた神山町の丘の上にひっそりと佇む一軒家、cafe Bandaで、ハンドメイドのキャンドルに灯りを灯し、アンブラブドのアコースティックライブやDJの選りすぐりのpick up songを演奏しました。



100万人のキャンドルナイト in 吉野川 / 徳島県吉野川市
参加者一人一人が、地元の人達がデザインした灯籠と、地元の子どものメッセージの書かれたビンに入ったおよそ3500個のろうソクに火をつけ、江川・鴨島公園をライトアップ。2000人の方が参加しました。



明道小学校との交流学習『廃油キャンドルをつくろう』 / 鳥取県米子市
鳥取県立米子南高等学校環境文化コースの3年生が「生活環境」の授業で明道小学校3年生41人と「廃油キャンドル」と「発泡トレイのしおり」を製作。高校生が二人一組となって4~5人の小学生に、油やアイロンに注意しながら作り方を教えました。



海と自然と夜を楽しむ100万人のキャンドルナイト in 浜島海浜公園 / 三重県志摩市
昼の部は、シーカヤック体験・シェルキャンドルづくり体験・火興し体験。夜の部は、キャンドル点灯セレモニー・伊勢えびカレーサービス・静かな軽音楽ライブ・星空観察会・フォークダンスイベントが行われました。



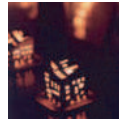
雷都ダウンとちぎ in うつのみや / 栃木県宇都宮市
参加者約250名のカウントダウンでオリオン通りアーケードをライトダウン。キャンドルの灯りの中で、那須町在住サクソフォン奏者木村義満さんの素敵な演奏をキャンドルに手に、節約のことも考えながら、楽しみました。



南信州・飯田のスローな夜を地域の食材で過ごす会 / 長野県飯田市
南信州産の千代福豚、南信州産たまねぎ、南信州産ラディッシュ、南信州産ソーセージ、南信州産の梅酒など、南信州産の地域食材を、環境にやさしいスローブークの焚火台で、地域農産物を食べるイベントが開催されました。



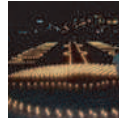
100万人のキャンドルナイト in 金沢白鳥路ホテル / 石川県金沢市
今回で3回目の開催。ホテルの電気を消してろうそくに火を灯し、物語の読み聞かせやお琴の演奏を聴きながら、スローな夜を愉しむワンドリンク制のイベントを開催しました。



キャンドルナイトと朗読の夕べ「100人のともしびの村」 / 千葉県佐倉市
佐倉市在住の若手陶芸家、垣野勝司が制作した陶製家型キャンドルシェードにろうソクを点灯。軽食を愉しみながら、宮澤賢治「よだかの星」や新美南吉の「狐」など心温まる本の朗読を楽しみました。



キャンドルナイト@東京日仏学院 / 東京都新宿区
エコロジーに刺激され、オシャレな空間を演出し、エコを浸透させようという企画。キャンドルに囲まれた空間で、nobuによるコンテンポラリーダンス、坂本美雨&おおはた雄一によるアコースティックライブが行われました。



100万人のキャンドルナイト in 井原駅 / 岡山県井原市
駅前広場にキャンドルを使って「MOTTAINAI」の文字を描きました。点火に市長も駆けつけました。



キャンドルナイト~カリンバと鳥唄ライブ / 長崎県北松浦郡佐々町
第一部は竹から作るキャンドルホルダーのワークショップを無料で開催。第二部では、キャンドルを点灯し、アフリカの民族楽器、カリンバと三線のセッションライブが行われました。



キャンドルナイト in さかえ 2006 夏 / 神奈川県横浜市
放課後児童クラブの子どもたちが、牛乳パックを活用して作った240個の紙灯籠を展示。約300個の竹灯籠が取り巻いたパフォーマンスエリアでは、ピアノ弾き語りや、詩の朗読などが行われました。



まちなかキャンドルナイト / 宮崎県都城市
「理科好きコーディネーター」の村上規代先生をお迎えして、天然の蜜蝋を使ったミニキャンドルを作りました。津軽三味線とパーカッションのコラボレーションによる「温故知新」の演奏、およびハーブを演奏しました。



カフェ・ローエル特別編 キャンドルナイトコンサート / 石川県鳳珠
川沿いに1000個の廃油キャンドルを並べ、日本茶が楽しめる和カフェを展開。キャンドルの灯りの中、宮沢賢治の短編「やまなし」の朗読や穴水町混声合唱団、輪島の歌人・角田貴昭さんによるミニコンサートが開催されました。



キャンドルライトアップ「四美ナリエ」 / 岐阜県下呂市
6000燈のキャンドルを点灯。昨年7月30日と12月18日に行いましたが、今年は全国植樹祭跡地も行き、約3700名の方が参加しました。



神田川キャンドルナイトクルーズ / 東京都千代田区
6月17日(土)18時半より参加者13名で、神田川、お茶の水-水道橋間を自作のペットボトル製キャンドルスタンドにフローティングキャンドルを浮かべ、約2時間実施。NPO法人あそんで学ぶ環境と科学倶楽部が主催しました。



1000000人のキャンドルナイト in さかた / 山形県酒田市
酒田夢の倶楽「華の館」無料開放して開催されました。メインキャンドルデコレーション会場では、氷のキャンドルホルダーを使ったアイスキャンドルタワーやお家型のホルダーを使い、幻想的なキャンドル村が出現しました。



ComfortSausage / 神奈川県川崎市
多摩川河川敷二子新地側にてComfortSausageBBQPartyが開催されました。心地よい音楽とともに、夕方からろうソクに火をともし、ブラネタリウムを演じました。

GeshiFes2006

東京都渋谷区

代々木公園野外ステージでは、suara sana、Dachambo、降神さんのコンサートや、呼びかけ人である辻信一さんとマエキタミヤコさんのトークショーがありました。ステージでは消灯のカウントダウンと共に、キャンドルナイトのフライヤーや大阪のキャンドルナイトでもアートディレクションを担当したCandle JUNEさんによるキャンドルパフォーマンスが行われました。



100万人のキャンドルナイト

@OSAKA CITY 2006 / 大阪市北区

コンセプトは「みんながキャンドル」。10000個のキャンドルが大阪西梅田エリアを取り囲み、消灯。専門学校生がキャンドルアートを展開し、来場者が参加して作り上げる「1000人のメッセージキャンドル」や、グリーン電力を使用した「野外フリーコンサート」が実施されました。会場では、ユネスコの支援活動の他、ウェブサイトから募集したメッセージが、行燈として掲示されました。イベント総動員数は135,000人でした。



さっぽろキャンドルナイト2006

北海道札幌市

道庁赤レンガ前庭にて「赤レンガ花あかりキャンドル」を点灯。大勢の観光客の方々も参加して、点灯式を行いました。演奏とともに、120個のランタンの灯りを使った「ハートマーク&LOVE」の文字が浮かび上がりました。時計台、赤レンガ、テレビ塔などの札幌の名所もライトダウン。人の心に音楽を奏でようと「ト音記号」のマークを作り、灯りの演出を行いました。期間中は、市内を中心に約50件のイベントが行われました。

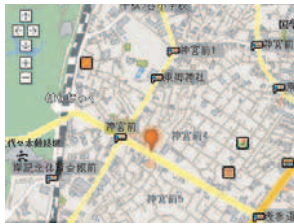


町ぐるみの大規模イベント、続々増加中。

このページにとりあげている6つのイベント。ただの大規模なイベントではないのです。それぞれ地方自治体（市区町村）と協力したり、商店街と協力するなど、地域と密着にイベントを企画・運営し、定番化しつつあるイベントたちなのです。

キャンドルナイト@Omoteshando- Eco Avenue / 東京都渋谷区

照明探偵団が関わるキャンドルナイトがキャットストリートから表参道に場所を変えて、今回で3回目。今回は、表参道沿いのお店など、5箇所で大學生がキャンドルインスタレーションを行い、表参道周辺のカフェ・7店舗でも、キャンドルを使った営業が行われました。神宮前小学校の子供たちも、再利用してつくったリサイクルキャンドルを手に、けやき並木を行進しました。ご父兄も含めて100名以上が参加しました。



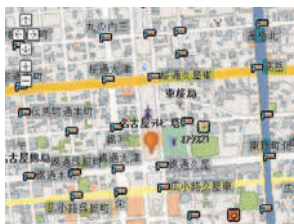
キャンドルナイトin島原城 長崎県島原市

その昔は島原の特産品だった昭和福はぜの実。その実から今も受け継がれる工法で抽出したロウでつくる和ろうそく200本を灯しました。約100名の親子が粘土を使ったろうそく台や、型抜き製法の和ろうそくを作って楽しみました。舞きりで火おこし体験も加え、エネルギーの大切さや、自然の恵み、現在の地球温暖化防止など、これからのエコロジー生活について語り合いました。



キャンドルナイト in NAGOYA 2006 愛知県名古屋市

テレビ塔や名古屋市関連施設20箇所、民間施設177所の協力があり、ネオンサインの消灯をしました。久屋大通公園では、2,700本のキャンドルを使用したキャンドル回廊が開催されました。オープンカフェが設けられ、キャンドルの灯りのなかでジャズコンサートも開かれました。テレビ塔周辺の広告看板などについては、イベント開催時間中の消灯を一軒ずつ協力要請して回り、194の企業から快い返事もらったそうです。





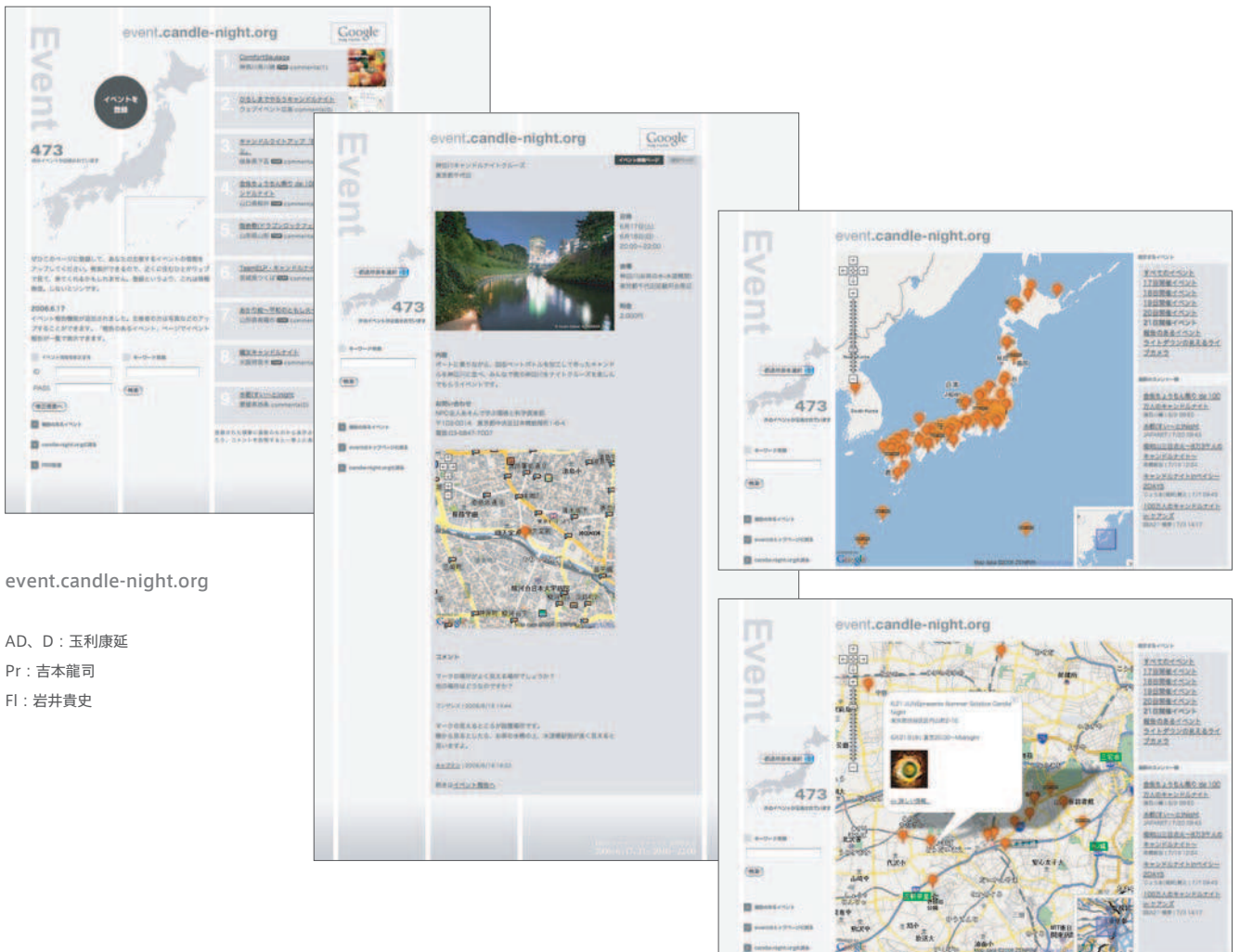
www.candle-night.org

AD、D：玉利康延
Pr：吉本龍司
CW：マエキタミヤコ
W：金優佳

candle-night.org 2006

100万人のキャンドルナイトのウェブサイトは、サイト上で「参加します。」「わたしも!」という声を伝え合いやすい仕組み作りを目指しています。また、一人ひとりの呼びかけが広がって大きなムーブメントになっていく様子をできるだけ実感できるようにとさまざまな工夫がこらされています。まず「イベント情報」。イベント開催前から、全国各地の参加者がイベントGoogle Maps上に投稿して、イベントに向けて気分を盛り上げることができるようになりました。それと同時に、この機能が各イベントの参加者募集の効果も生まれました。イベント主催者は、開催後にイベント報告を載せることができます。これは現在も閲覧可能です。もう一つは「candle scape」。夏至の前に、一言メッセージを添えて参加表明を投稿することで、参加者同士がつながるコンテンツです。期間中には、その様子をリアルタイムに写真で報告する「kaleido scope」も用意されました。(この2つのコンテンツに関しては次のページに詳しく出ています。)

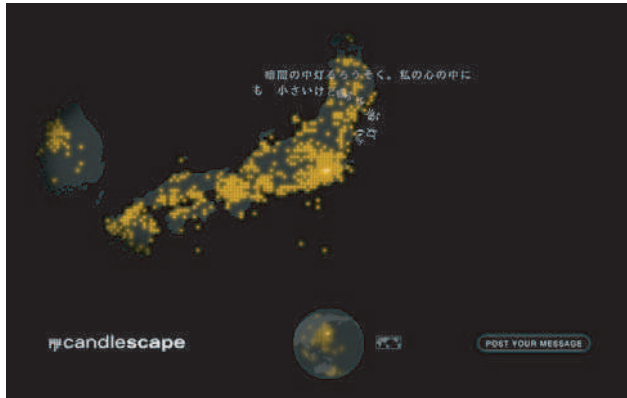
随時ブログからのトラックバックも受け付け、サイト全体がユーザーの意識の広がりや大事にした作りになっています。



event.candle-night.org

AD、D：玉利康延
Pr：吉本龍司
FI：岩井貴史

キャンドルナイトの「要」はインターネットです。



candle scape

PCや携帯電話から「メッセージ」「郵便番号」「Emailアドレス」を登録する。すると地図上のあなたが住んでいる地域に灯りがともり、自分のメッセージが他の人のそれと共に流れます。それが「キャンドルスケープ」。キャンドルナイトへの参加をグラフィカルに表現する企画サイトです。地図上に人と時をつなぐ心の灯りをリレーします。また、希望する方にはキャンドルナイトからメルマガが届きます。これまでは国内からの投稿しか受け付けていなかったですが、今年からはワールドワイドになり多くの言語に対応するようになりました。世界規模になったことで、アルゼンチンからもメッセージが届きました。画面上でたくさんの人の思いに触れることができる、インターネットならではのものとなりました。現在も、みなさんからのたくさんのメッセージを見ることができます。



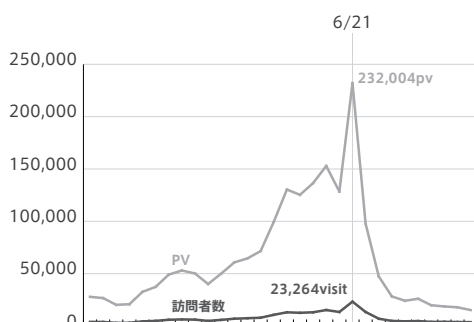
kaleido scope

世界中のひとたちは、どんな2時間を過ごしたのだろう？それを写真とメッセージで共有するのが「カレイドスコープ」。カレイドスコープとは万華鏡という意味です。携帯電話で撮った写真に、メールの本文としてメッセージを添えて送信。するとそれがウェブサイトに反映され、ひとりひとりのスローな夜がライブ中継されます。本当にすてきな写真とメッセージをたくさん送っていただきました。登録可能期間は100万人のキャンドルナイト期間中ですが、現在もみなさんからの写真とメッセージを見ることができます。

feel.candle-night.org

製作：Earth Literacy Program
AD、D、FI：アラカワケンスケ
FI：松村慎、姉崎祐樹
PI：玉利康延、石元龍太郎
Pr：吉本龍司

http://www.candle-night.org



2006年6月の総アクセス数 **1,905,068** PV

ページビュー (PV)

Webサイトの訪問者のブラウザにHTML文書(Webページ)が1ページ表示されるのが1ページビューです。通常、訪問者はサイト内の複数のページを閲覧するため、訪問者数 (visit) よりもページビューのほうが数倍多くなります。ページビューはテレビ広告のGRPに近い概念で、リーチ (到達者数) とフリークエンシー (平均接触頻度) に因数分解して媒体力を測定することができます。

04 Lightdown

ライトダウン・環境省との連携



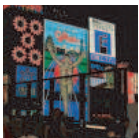
東京タワー



京都タワー



お台場 パレットタウン大観覧車



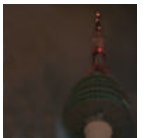
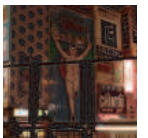
大阪 道頓堀



韓国 ソウルタワー



韓国 ボシングク



▶▶▶ Lightdown!

消灯施設 **39,845** カ所

削減電力量 **812,508** kwh

環境省と連携してやっています。

100万人のキャンドルナイトは、市民、企業、政府が一緒になって、消灯を呼びかけるムーブメントです。100万人のキャンドルナイトと環境省はパートナーシップを組んで活動しています。環境省では6月17日～21日を「CO2削減／ライトダウンキャンペーン・ブラックイルミネーション2006」として、日本中の企業や施設に消灯を呼びかけました。その結果、39,845カ所の施設が参加を表明し、約81万kwhの電力の削減に繋がりました。また、今年は日本国内の施設だけではなく、海外での消灯施設もありました（韓国のソウルタワーなど）。キャンドルナイトの輪は日本から世界へ、年々広がりをみせています。

わたしたちも参加しています。
ご理解とご協力をお願いいたします。

デンキを消して、静かな夜を。
チーム・マイナス6%

ブラックイルミネーション 2006
6月18日(日) 午後8時～10時

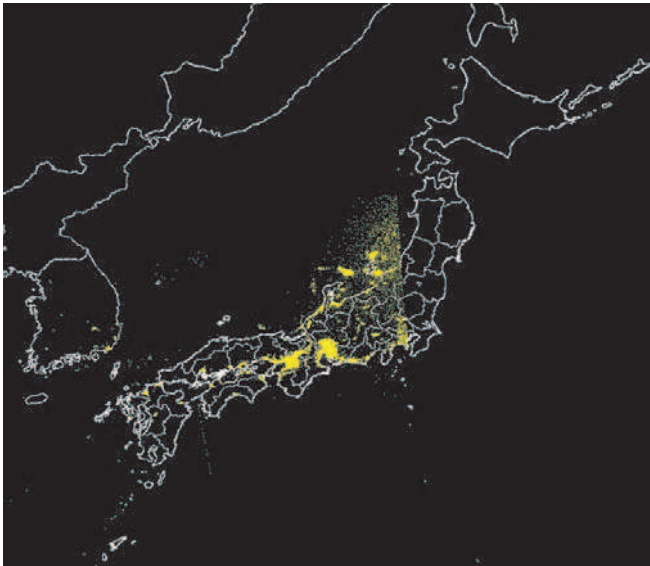
<http://www.teen6.jp>

05 Photo from satellite

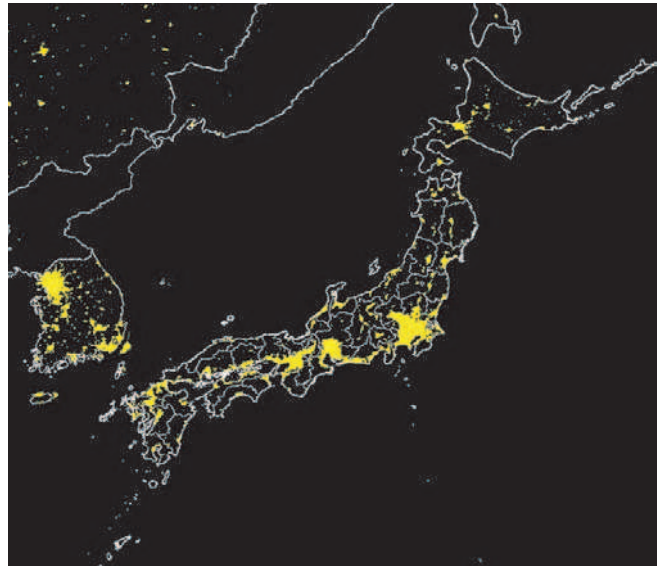
衛星からの写真

宇宙からみたキャンドルナイト

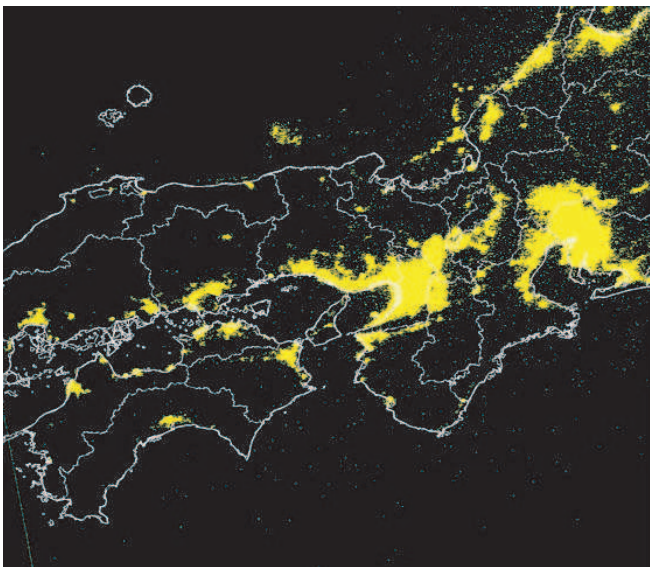
2006年も、電気を消してスローな夜、を宇宙から眺めて見ました。キャンドルナイトの時間帯に日本上空を飛ぶ極軌道衛星によって、ライトダウンのあった土曜日の夜間の光を人工衛星を使って観測し、2003年の平均的な夜の光と比較してみました。今年もやはり全国的に雲の多い夜で、やっと観測できたという状態でした。



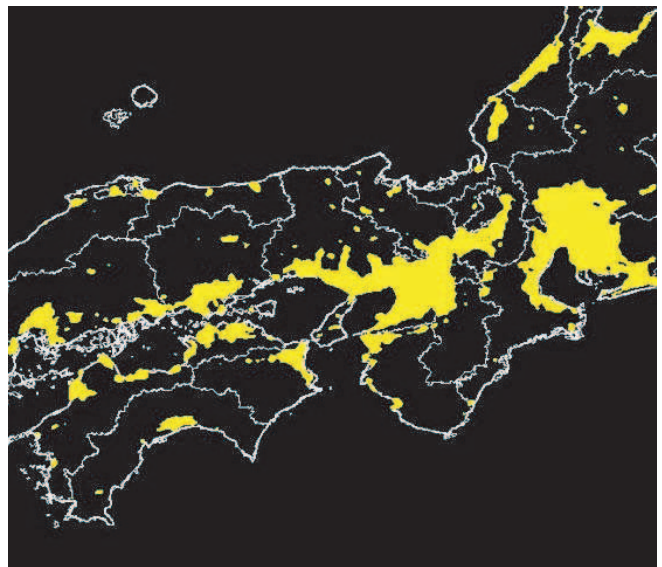
DMSP/OLS F15 2006/6/18 20:40 (JST)



DMSP/OLS F15 2003年 平均画像



DMSP/OLS F15 2006/6/18 20:40 (JST) 拡大



DMSP/OLS F15 2003年 平均画像 拡大

撮影をされた株式会社ビジョンテックの原さんより

解析結果ですが今回は衛星の軌道と太陽の関係で、太陽光が衛星のカメラにまともに入ってしまう位置関係だったため、センサーゲインの調整範囲外となり、従って、太陽光が直接入らない位置関係となるまで、ゲインオフとなりました。そのため、関東以北が観測されておりました。また、観測は18日との比較をするために、17日と19日の両日の観測もお願いしましたが、気象条件、ならびに、太陽の位置から観測ができなかったもようです。そこで、年間の平均人工光画像（2003年版）と比較をするようにしました。平均人工光画像には、林野火災などのような突発的に発生する光で、かつ、継続しない光は除いてあります。つまり、決まった場所にいつも発光している光を人工光とみなして抽出積算した画像です。

06 Photocontest

フォトコンテスト

CANDLE NIGHT
PHOTO CON 2006

キャンドルナイトの日の出来事を写真に撮って応募する「キャンドルナイトフォトコン」今年の応募総数は354点、審査員は呼びかけ人代表でもある坂本龍一氏、テラウチマサト氏、写真家の長島有里枝氏、同じく写真家のホンマタカシ氏が担当。昨年に引き続き今年も株式会社アマさんの協力で、インターネット上の写真アーカイブサイト「fotologue」上での募集・審査を行い、雑誌PHaT PHOTO (9-10月号)での発表となりました。そして今年からはセイコーエプソンさんの協力で、東京・青山にあるエプソン直営店「VISION」 in Aoyama にて応募者全員の作品が展示されました。

応募総数 **354** 件

坂本龍一賞

該当者無し

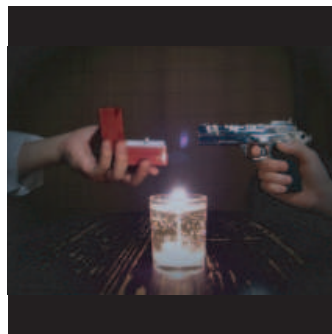
テラウチマサト賞

該当者無し

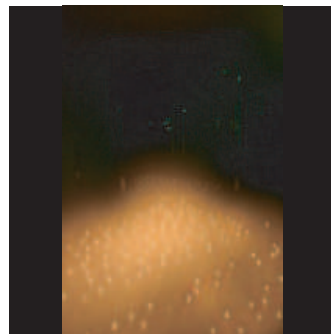
長島有里枝賞



『失うこと美しく』 OSAKANA
闇は灯りに隠れ灯りは闇が深いほど美しい



『An unhappy proposal』 yukizo
『結婚しよう』『…無理』
こんなプロポーズの断られ方は嫌だ



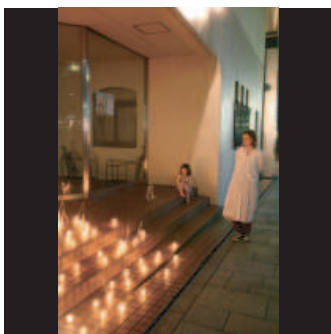
『ひかりのながれ』 saiko camera
キラキラと、ほんやりと、
キャンドルナイトのようにあたたかく



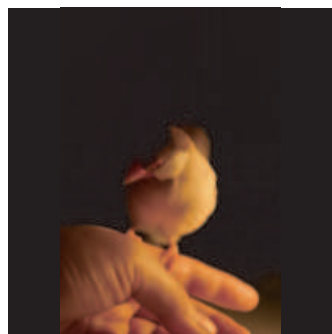
長島有里枝賞 (写真右)

1973年東京都生まれ。国内外での展覧会、雑誌、広告など幅広く活動している。主な写真集に『empty white room』、『PASTIME PARADISE』、7年にわたって「夫」を撮りつづけた最新写真集『not six』。「唐招提寺 鑑真和上と盧舎那仏に捧げる献華写真・献句展」では、撮り下ろし作品で参加している。

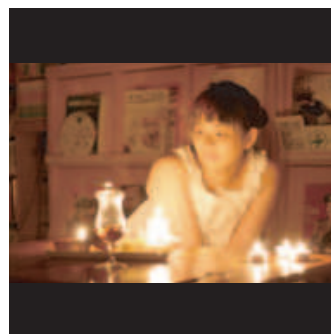
ホンマタカシ賞



『とおりすがり』 saiko camera
意味もなく足をとめる、すてきなできごと



『10134』 瑚々青
君とほの暗い光の中で過ごす 眠そうだね



佳作『妻と…』 妻と二人で過ごす静かな夜 いつもよりゆっくり流れる時間の中で

ホンマタカシ賞 (写真左)

1962年東京都生まれ。ロンドンに渡りファッション・カルチャー誌『iD』で活動。帰国後、雑誌・広告・アートなど、さまざまなジャンルで幅広く制作活動を行う。2003年には、伝説の写真家・中平卓馬のポートレートムービーを制作し、話題を呼んだ。

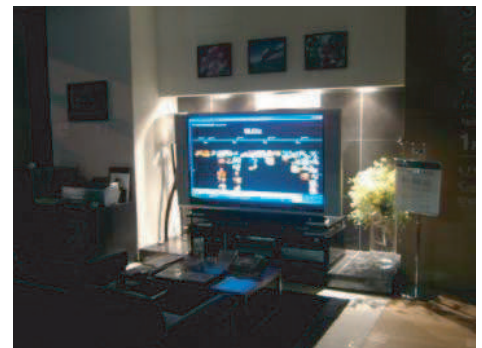


アマナのfotologue.jpという写真ブログシステムを使わせていただくことで、フォトコンテストの告知、作品の応募、審査がウェブ上で実現しました。通常のフォトログの機能に写真をダウンロードするシステムが追加され、データのアップロードも容易になりました。

<http://fotologue.jp/#app/search/tags/candlelight>



キャンドルナイトのよびかけとフォトコンテストの告知をしていただきました。7/21～8/20には、応募作品のすべてが毎日更新されていく写真展が、EPSONのショールーム、青山「VISION」にて開催されました。フォトコンテスト受賞作品の展示会も検討中です。



フォトコンテストの受賞作品の結果発表を掲載。同時に、審査員であるホンマタカシさんと長島有里枝さんの2人をお迎えして、今年のキャンドルナイトフォトコンテストについての対談が載りました。多くの写真愛好家の方々がキャンドルナイトを知る機会をつくっていただきました。





2006夏至フライヤー

製作：サステナ
CD：木村貴史
AD：Candle JUNE
D：野村真美
P：ARIKO

3月末から制作に取りかかったキャンドルナイトのビジュアル撮影。今年のイメージキャラクターは、若者に人気があることやわらかいキャンドルナイトのイメージが一致し、木村綾子さんになりました。カメラマンのARIKOさんのこだわりで、淡く、キャンドルのあたたかさが伝わるように、撮影にネガフィルムを使っています。Candle JUNEさんには、キャンドルで幻想的な雰囲気を作って頂きました。さらに、今年のフライヤーには仕掛けがあり、縦と横で違う雰囲気を楽しむことができます。

でんきを消して、スローな夜を。

私たちは「100万人のキャンドルナイト」を呼びかけます。2006年の夏至の日、6月21日より、8時から10時の2時間、みんなでいっせいでんきを消しましょう。

ロソクのひかりで子どもに絵本を読んでもいいでしょう。しずかに恋人と食事をするのもいいでしょう。

ある人は省エネを、ある人は平和を、ある人は世界のいろいろな場所で作る人びとのことを思いながら。

プラグを抜くことは、新たな世界の窓をひらくことです。

それは人間の自由と多様性を思いあこむことであり、文明のもっと大きな可能性を発見するプロセスであると私たちは考えます。

一人ひとりがそれぞれの考えを胸に、ただ2時間、でんきを消すことでゆるやかにつながっていく「やみゆかのウェブ」を地球上にひろげていきましょう。

2006年6月21日、夏至の日
よる8時から10時
でんきを消して、「スローな夜を。」
100万人のキャンドルナイト

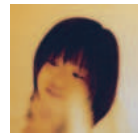
Good evening

晩上好こん

キャンドルナイトを空から見てみたいと思いませんか。でんきを消している人にあかりのしずくが落ちる「キャンドルスクープ」。あなたもメッセージを送って、融解のあかりを灯してください。今年から、日本だけでなく、世界中のあかりが灯せます。携帯からも参加できます。くわしくはwebサイトをごらんください。
100万人のキャンドルナイト実行委員会 webmaster@candle-night.org FAX.03-3402-5590

<http://www.candle-night.org/>

100万人のキャンドルナイトは環境省「ライトダウンキャンペーン」とパートナーシップを結んでいます。キャンドルナイトに関する情報をお寄せください。



木村綾子

1980年7月19日生まれ。B型。執筆家/モデル/タレント。NTTドコモ北陸のCMや、フジテレビ系列 平成教育2005予備校、世界ウルルン滞在記に出演。

製作：電通
 CD：石田茂富
 AD：福井崇
 D：野村真美
 CW：マエキタミヤコ

100万人のキャンドルナイトと環境省のキャンペーンである「ブラックイルミネーション2006」が一緒に作った全面広告です。6月17日の朝日新聞朝刊に掲載されました。100万人のキャンドルナイト2005夏至で実施された「Candle Scape」と「Kaleido Scope」に送られてきた参加者のメッセージを元に作成されました。

思ったより明るいので、 暗ごはん、いつもよりよく睡んだ気がした。

でんきが消えたら、天の川見えるかな？ 子どもが一言「もう消してもいい？」誕生日だと思ってるみたいで、

あうちでプラネタリウム、 暗闇に目が慣れました、明るさに目が慣れちゃってたんですね。

電気のスイッチを消してみた、それだけなのに、いつもと違う夜、 ひまじぶりに「夜」を感じました。

今年も参加します、 大観にいる命もキャンドルナイトしてるみたいです。

ココロの電気が灯りました、 子どもと一緒にキャンドルナイト、もう大はしゃぎ！

ニッポン、真っくらプロジェクト参加中、 今夜はおばけとだって仲良くなれそう、

すっかりはまりました、 父と母の前婚式のロウソクで、キャンドルナイトしています。

テレビも消して、スローな夜を楽しんでいます、 アメリカに住んでる彼と一緒にキャンドルナイトしました。

闇が徘徊します、 いま用い出して、いそいで参加、まにあったー、

夜ってこんなに静かだったんだ、

静寂でもはじまりました。

でんきを消して、スローな夜を。

Turn off the lights. Take it slow. 星が降ってくるよー。

お前かいさんも電気が消えた。

毎日やってもいいかも☆ キャンドル灯して、仕事...うーん、なんだかかないい〜。

友達からのメール、ろうそくの写真がいっぱい、あ、また来ました。 父がしみじみとしてます。

自然と隣にリラックス、 雨音がいつもよりはっきり聞こえる気がします。

ネコと犬と一緒に夕眺み、電気がない、彼らの生活を味わってみました。 今夜は一人旅順。来年は好きな人と過ごしたいなあ。

キャンドルナイトライズ、ろうそくの灯りだと、言葉や音が心にひびきます。 さあ、家に帰って電気を消そう。

フィンランドの友達もやったそうです。 いろんなことを書いて、なぜだか、泣いちゃいました。

外が明るくてびっくりしました。 毎日やったら、電気がどれくらい減るかな？

音も光も、ちょっとでいいんだ。 闇アイス、子どもと味のあてっこゲーム。

もういえば、電気がどこからきてるんだろう？ ふだん、どれだけの光に包まれていたか実感しました。

おもわず即座早見巻を探してしまいました。 東京タワーが消えています。

6月17日(土)ー夏至の21日(水) よる8時から10時

みんながいっせいでんきを消しましょう。 まちをいっせいにライトダウンします。
100万人のキャンドルナイト **ブラックイルミネーション2006**
www.candle-night.org/ www.wanokurashi.ne.jp/

この5日間に全国でさまざまなイベントが開催されます。キャンドルナイトも窓から見てみたいと思いませんか？でんきを消している人ばかりのしずくが落ちる「キャンドルスターフ」、あなたもメッセージを送って、輪のゆかりを打ってください。

環境省が主催している活動もそのほかにも100万人のキャンドルナイト、は、CDの音楽に合わせて自ら録音したサウンドトラックを録音し、日本海、日本海沿いのイベントを行っています。

この新聞は「でんきを消して、スローな夜を。」に賛同する以下の企業によって提供されています。【五十音順】

提供企業名	提供企業名	提供企業名	提供企業名	提供企業名	提供企業名	提供企業名	提供企業名	提供企業名	提供企業名	提供企業名
住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命
住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命
住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命	住友生命

東京生活 2006 June-no.12

読売ウィークリー 2006 7/9号



私達自身が参加者 明かりを消して、キャンドルで過ごす「キャンドルナイト」

「環境にやさしい生活を送るには、電気を止めて寝ることも大切。キャンドルナイトは、そんな生活スタイルを体験するチャンス。キャンドルナイトは、環境にやさしい生活を送るための一歩。キャンドルナイトは、環境にやさしい生活を送るための一歩。キャンドルナイトは、環境にやさしい生活を送るための一歩。」

Archives

700万人の大イベント 「キャンドルナイト」って?

6月21日の夏至までの5日間、夜9時から10時まで、電気を消してキャンドルの明かりのもとでスロースローな時間を過ごす。そんなロマンチックで静かな夜が都会に広がっている。東京タワーやレインボーブリッジのライトアップも減った。環境省や大企業などが次々と参加し、今年もなんと約700万人が全国のイベントに参加したという。明かりを消して、何が見えてくるのだろうか……

キャンドルナイトとは、環境にやさしい生活を送るための一歩。キャンドルナイトは、環境にやさしい生活を送るための一歩。キャンドルナイトは、環境にやさしい生活を送るための一歩。



700万人の大イベント 「キャンドルナイト」って?

6月21日の夏至までの5日間、夜9時から10時まで、電気を消してキャンドルの明かりのもとでスロースローな時間を過ごす。そんなロマンチックで静かな夜が都会に広がっている。東京タワーやレインボーブリッジのライトアップも減った。環境省や大企業などが次々と参加し、今年もなんと約700万人が全国のイベントに参加したという。明かりを消して、何が見えてくるのだろうか……

朝日新聞 aspara 2006年6月7日

心地よく自分らしく

「100万人のキャンドルナイトのイメージキャラクターを務める 木村 綾子さん」

「キャンドルナイトは、環境にやさしい生活を送るための一歩。キャンドルナイトは、環境にやさしい生活を送るための一歩。キャンドルナイトは、環境にやさしい生活を送るための一歩。」

木村 綾子さん

キャンドルナイトは、環境にやさしい生活を送るための一歩。キャンドルナイトは、環境にやさしい生活を送るための一歩。キャンドルナイトは、環境にやさしい生活を送るための一歩。

朝日新聞 2006年6月22日



スローな夏至の灯

東京・代々木公園で21日、夏至の日の夜に電気を消し、ロウソクの火でスローなひとときを過ごすイベント「GeshiFes(夏至フェス)2006」があった。写真、上田幸一撮影。

環境NGOなどが昨年2回、夏至と冬至の夜に省エネや環境問題を静かに考えようと呼びかけた。同公園の野外ステージでは、午後8時30分から照明が消されロウソクがともされると、イベントに参加した若者が広範囲な照明を消した。

6.22朝刊(5)

日本経済新聞 2006年6月16日

「キャンドルナイト」に参加

「キャンドルナイト」は、環境にやさしい生活を送るための一歩。キャンドルナイトは、環境にやさしい生活を送るための一歩。キャンドルナイトは、環境にやさしい生活を送るための一歩。

毎日新聞 2006年6月19日

ライトダウンで環境想わナイト

全国スポットライト

環境省が主催する「キャンドルナイト」は、環境にやさしい生活を送るための一歩。キャンドルナイトは、環境にやさしい生活を送るための一歩。キャンドルナイトは、環境にやさしい生活を送るための一歩。

新聞		Weeklyびあ	6月9日
ふえみん	4月6日	OTEMACHI CAFE vol.009	6月13日
毎日新聞 (大阪)	4月28日	ヴァンテヌ 7月号	6月13日
道21世紀新聞 6号	5月2日	シュシュ	6月13日
日経MJ	6月6日	神戸ウォーカー	6月15日
朝日新聞 aspara	6月7日	天然生活 8月号	6月21日
日本農業新聞	6月8日	神戸ウォーカー	6月21日
道21世紀新聞	6月9日	読売ウィークリー	6月27日
毎日新聞	6月14日	Casa BRUTUS 別冊	7月2日
産経新聞 (滋賀県版)	6月15日	Web Designing ウェブデザインング	7月19日
日本農業新聞	6月16日		
日経新聞	6月17日	書籍	
朝日新聞	6月18日	気候変動 +2°C	4月7日
朝日新聞	6月18日	でんきを消して、スローな夜を。100万人のキャンドルナイト	6月2日
毎日新聞 (大阪)	6月18日		
東京新聞	6月19日	テレビ	
日本農業新聞	6月19日	NHK盛岡放送局 ママスタGoo!	5月27日
東京新聞	6月20日	NHKおはよう日本	6月17日
産経新聞	6月20日	日本テレビ ズームイン! サタデー	6月18日
日経新聞	6月20日	テレビ朝日 報道ステーション	6月20日
朝日新聞	6月21日	MTVジャパン	
北海道新聞	6月21日	京都チャンネル	6月22日
Opinion	7月4日	KBS京都	6月22日
毎日新聞	6月20日	今日の出来事 福岡	6月22日
朝日新聞	6月23日		
朝日新聞 (大阪発行版)	6月23日	その他	
産経新聞 (西日本版)	6月23日	ラフraf No.13	4月2日
		上智大学通信	5月21日
		レインボータウンFM	5月22日
雑誌		nack5	5月24日
anan	4月13日	FEEL KOBE (インターネット)	5月30日
くろすとーく	5月2日	吉祥寺のフリーペーパー 『PASAPORTE』	6月2日
みんなのエコライフ スローライフ	5月2日	1分間発想カドリル (インターネット)	6月2日
東京生活	5月16日	キャンドルナイトinくまがや 配布資料	6月2日
愛媛komachi	5月21日	OHANASHIサラザ (らでいっしゅぼーや月刊誌)	6月2日
チャオマガジン	5月21日	環境省ホームページ	6月6日
ドミナ	5月23日	Yahoo! 「プチボラしよう！」	6月8日
TRINITY	5月26日	Enviro-News form junko Edahiro1204 (インターネット)	6月8日
SPOON (山形県酒田市のフリーペーパー)	6月2日	農林水産省ホームページ	6月9日
月間ぶらざ (岐阜の情報誌)	6月2日	ぶらんでっく (新興プランテック株式会社の社内報)	6月10日
OPPi (大阪市内のフリーペーパー)	6月2日	nikkeibp.jp “街ネタ” “旬ネタ” ウォッチング	6月14日
ecocolo	6月2日	TOKYO FM	6月17日
ソトコト 7月号	6月2日	Yahoo! News	6月19日
LOHAS dealogue 3	6月2日	gooブログ THE BLOGGER'S NEWS	6月20日
TOKYOウォーカー	6月7日		
KANSAIウォーカー	6月7日	ラジオ	
KANSAI1週間	6月7日	F M802 「HAPPY FUN RADIO」	6月22日
GLITTER	6月8日		

09 Revenue and expenditure

収支

「100万人のキャンドルナイト」は、地球環境基金からの330万円の助成（2006年度）と出版協力による収入、そしてみなさまからの賛同金で運営されています。2006年度の賛同金のスタイルは、3,000円、10,000円、50,000円の3タイプ。賛同して頂いた方には、ミツロウでできたローソクと、フライヤー・ポスターをお送りしました。収入は主に、キャンドルナイトを実施するための経費として、実行委員会が責任を持って使わせていただいております。下記収支は2006夏至分（2006年8月31日現在）のもので、これはそのまま2006冬至に引き継がれます。

収入

賛同金 4,566,000円
（一口3,000円、10,000円、50,000円の賛同金による収入）
地球環境基金助成金 2,414,000円（年度総額3,300,000円）
（平成16年度より、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けています）
出版協力による収入 236,000円
（アーティストハウスより出版された「100万人のキャンドルナイト」による収入）

計 7,216,000円

支出

夏至ウェブサイト作成+更新費 550,000円
サーバー構築+維持管理費 100,000円
フラッシュコンテンツ作成に関する費用 500,000円
翻訳その他海外展開に関する費用 500,000円
フォトコンテストに関する費用 150,000円
ポスター、フライヤー印刷費 300,000円
ウェブサイトその他用取材・記録・原稿料 240,000円
ビジュアル撮影に関する費用 350,000円
キャンドル購入に関する費用 110,000円
PRグッズの梱包、発送費 600,000円
通信費 60,000円
交通費 54,000円
事務用品費 50,000円

計 3,564,000円

5万円以上募金して下さった方

小林武史、石川広己、AntEnna、うさぎや、らでいっしゅぼーや、稲葉喜一、岩波則康（彩生舎）、井口俊之、及川修（研空舎・代表）、湯らっくすゲンキスクエア、ひょうご環境創造協会（兵庫県地球温暖化防止活動推進センター）、ほんの木、日本SGI株式会社、近藤正明、横川寛、ハイパーブランド、バルシステム生活協同組合連合会、ざ・こもんず、オルター・トレード・ジャパン、リバーグリーン、佐藤環、遠藤蒲鉾店、秋川牧園、日下部知世子、斎藤京一、全通、大地を守る会、松下昌弘税理士事務所、旬楽膳、株式会社丸八真綿マルハチ青山店、東洋エクステリア株式会社、西部ガスリビングスタジオヒナタ北九州、ミニストップ株式会社、日本労働組合総連合会、(株)都田建設、ヴェレダ ナチュラルケア スタジオ、Euvodesgin、キルフェボン、ハートランドビール、太陽生命保険株式会社、ゴトーグループ、TBSラジオ&コミュニケーションズ、株式会社INAX、住たい工房

1万円以上募金して下さった方

Lady's bbs Piyo.m. みんなで作る女の子の掲示板 岡崎真、岡崎道子、松井大輔(松井大輔建築設計研究所代表)、木村修、堂園晴彦、田川悟郎、鳥原良子、一ノ宮嘉道、グリーンコンシューマー研究会、三橋規宏、泉正徳、自然食糧品 グルッペ、安全な食べ物ネットワーク オルター、花の企画社、泉庄治、本橋成一、足立房夫、三里塚航業、栗原彬、須田洵、早野透、緑田雅樹、ピープル・ツリー/グローバル・ヴィレッジ、ほんくま、風見涼子♪、鋤田孝志、癒しのかくれ村、森谷龍一、姜尚中、ソーホー・ジャパン、ぬちぐすいワンス、社団法人福岡県産業廃棄物協会北九州支部、Atelier Masako、初田優、キャンドルハウス・アクセス、地球洗い隊、株式会社ワークオン、フォーエヌ有限公司、特定非営利活動法人知床ナチュラリスト協会(NPO SHINRA)、(株)浪漫堂、岡崎道子、一ノ

宮嘉道、Lady's bbs Piyo.m. みんなで作る女の子の掲示板 岡崎真、松井大輔(松井大輔建築設計研究所代表)、木村修、堂園晴彦、田川悟郎、鳥原良子、グリーンコンシューマー研究会、三橋規宏、泉正徳、自然食糧品 グルッペ、安全な食べ物ネットワーク オルター、花の企画社、泉庄治、本橋成一、足立房夫、三里塚航業、栗原彬、須田洵、早野透、緑田雅樹、ピープル・ツリー/グローバル・ヴィレッジ、ほんくま、風見涼子♪、鋤田孝志、癒しのかくれ村、森谷龍一、姜尚中、ソーホー・ジャパン、ぬちぐすいワンス、社団法人福岡県産業廃棄物協会北九州支部、Atelier Masako、地球洗い隊、初田優、キャンドルハウス・アクセス、株式会社ワークオン、フォーエヌ有限公司、特定非営利活動法人知床ナチュラリスト協会(NPO SHINRA)、(株)浪漫堂、(株)ナチュラルハウス、軍司直樹、Cafe Orange (カフェオランジュ)、富山県生活協同組合、たまいとこ、有限会社 大和急送、(有)ゆっくり堂、坂本一晃、但野友久(水戸JC)、吉澤敦(水戸JC)、太陽光発電システム「見積工場」(株)グローバル商事、キャンドルナイト in くまがや2006実行委員会、古木山 東伝院、府中商人塾、義村玉朱、キャンドルナイト四日市実行委員会、星野リゾート 星野温泉トンボの湯、サクセスフォーチュン、東都生活協同組合、WITH THE STYLE FUKUOKA、Vacca、100万人のキャンドルナイト in なばり 実行委員会、東都生活協同組合、Oppi ~LIFE STYLE SHOP~、宮本 幸枝、(株)武蔵屋 勝田台店、(有)カメラトップス本郷駅前店 玉虫 敦、杏庵、上田かつよし、(株)生活サポートクラブ、(株)武蔵屋 勝田台店、アセロラ倶楽部 さとーてーいち、森 映之、苫小牧の自然を守る会

3千円以上募金して下さった方

堀籠 克衛・美穂・終衛「One to One」~ほしのしずく~、LadyBugs、くらすば、shinichi-shimada、小林 恵喜、庄野真代、ミキ未来ネットワーク、井内摂男、向達吉、森藤

実木子、RAINBOW☆GLASS、retrocalm、栗先生、癒し処からす屋熊野本宮、中村音楽工房、福永浩之、Irie kitchen AaTY、三葛敦志、扇田悦子、藤井明人(NECフィールディング)、小原文夫、佐藤喜作、アイシスガイアネット、なーんちゃってベジ、堀井修、大沼勝、陽捷行、横田克巳、三輪主彦、CHAOS(ケイオス)サーフショップ 新里毅、プチャレレ、環境NGO社のなか 小林正明、kintaねーさん、渡辺裕文(コナモン協会調査隊、リビングフィールド)、あなたにもできることがきつとあるSNS『Volan』(株)easywarp、川西那奈、おのだいすけ&ふみえ、大川卓也、水田清久、竹野裕子、角田稔、(株)武海建設 早坂淳一、Bees Mare オリジナル蜜蠟キャンドル、bonetune_record、アトリエ燈が次、Kenzo Suzuki、神南ブラクティス、Nobby、石川ファーム、SI&TY、サロン・ド Repos、リトルワンダーズ インターナショナル スクール、smottty、pyon♪、オオハシミチオ、Luce、京都キャンドル、大江勝、政本晶生、岸田燃料有限公司、岸康彦、Resonanced sky*、岸康彦、澤田佐一郎、早川美智子、中川達夫(星稜写真家)、13LUNA●アロマテラピー&ヒーリングショップ、深山智子、偶々屋◇タマタマヤ◇、なかじまいく、白桃 ウィンソン、Mike、天の川急便、きゃんどる工房 アミティー、PINBALL CAFE、弘前JCACT、Nest、松本将太郎、todo&midorippe、forma建築研究室、板垣綾子、大矢根昌三、津金千歳、赤坂ル・アンジェ教会、佐藤花代、GuestHouse北山倶楽部、ハーバー トライズチャーチ、京都ノーザンチャーチ北山教会、北山ル・アンジェ教会、南青山ル・アンジェ教会、TAKAMI、森喜彦、Zakka Bakka オーガニックキャンドル、Drops、Rainbow Earth、常陽建設株式会社、夢風舎倶楽部、Hana ~癒し系ヘアサロン~《アー・ハナ》、杉野真司(三条市生涯学習インストラクターの会)、常亜由子、S-Mileカンパニー、kaltio.、コアギャラリー&スバ、「natura」ナチュラル魚沼

ちょっとずつ、世界にも広がっています。



🇲🇵 モーリシャス

場所はモーリシャスの首都、ポートルイスの中心にあるLe Cafe du Vieux Conseil。イベントには公益事業担当相、ポートルイス市長を初め、議会の要人も来賓として参加しました。平和へのメッセージが読み上げられ、カウントダウン、そしてインド地方で行われているキャンドル・ダンスが演じられました。今後は、実行委員会を各地で組織する予定です。

🇺🇸 アメリカ

若者の集まるカフェ「Kiva Han」がこの日の夜だけキャンドルライト・カフェへと変わりました。8時から10時の間店内の電気はほぼすべて消され、店中にオシャレで幻想的なキャンドルの光りが灯されます。コーヒー×音楽×キャンドルの化学反応が生み出すエスプレッソのように濃厚な時間を楽しみました。

🇰🇷 大韓民国

ソウルタワーをはじめ、ソウル中心街の施設が消灯しました。タワーの下では、地元のラジオ局がコンサートを主催。日韓協力による地球温暖化防止を訴えました。女性環境連盟が、市内施設のカウントダウンやキャンドルを使ったパフォーマンスイベントを行いました。

🇦🇺 オーストラリア

エコロジー・アース・アート21(EEA21)のキャンドルナイトが、18日ケアンズで開催され、多くの日本人ボランティアが集まりました。美術館でワークショップを行い、ガチャボンのケース等の廃材を主とする材料で、地元の子供達とキャンドルを制作しました。廃油を植物性油脂で固める薬品は豪州では市販されていないため大人達にも新鮮な驚きがあったようです。

🇫🇷 フランス

入場料は2ユーロ。お菓子は食べ放題。ドレスコードは「le Japon」「Kawaii」で。お菓子を食べながら音楽を聴いて、のんびりゆったりおしゃべりするのがNovel Nightのコンセプト。夜の0時からはキャンドルナイトで楽しみました。

🇨🇳 台湾

台北市の中心にある「誠品書店・敦南店」のロビーにて、台湾で活躍しているミュージシャンをあつめて無料のコンサートを開催。音楽でゆっくりなテンポを意味する「adagio」ととって、「アダージョナイト」と題し、なごやかな雰囲気のあるコンサートになりました。

大韓民国でのキャンドルナイト



100万人のキャンドルナイトの海外向けの取り組みとして、12回に渡り、英文のニュースレターを発行しました。日本の動向だけでなく、キャンドルナイトを自分たちの国でも実施しよう、という海外の動向も世界に発信されました。海外からの問合せにも対応し、ニュースレターダイジェストの転送活動や「和ロウソク」プレゼントなど拡大キャンペーンを行いました。結果として、海外6カ国でイベントが開催された様子が報告されました。

英語版 キャンドルナイト・ニュースレター

CD : 枝廣淳子
D : 佐藤千鶴子
W : 岸上祐子



100万人のキャンドルナイトは、一人一人が主催者になる活動ですが、みなさまのコーディネーターとして、発起人である「呼びかけ人代表」数名が定期的に実行委員会を招集し、毎年、夏至・冬至の開催に向けて、多くの「呼びかけ人」にこのムーブメントの広がり呼びかけていただけるよう、さまざまな準備をしております。また、実行委員会事務局では、毎年二回の開催に向けて、イベント企画、インターネット上の運営、記録、プレスリリースなど、さまざまな準備をしております。

※ 100万人のキャンドルナイトは平成16年度、17年度、18年度 独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けています。

※ 100万人のキャンドルナイトは2004年度グッドデザイン賞(新領域部門)を受賞しました。

100万人のキャンドルナイト事務局

担当：前田誠一、大野由紀恵

Tel 03-3402-8841 Mail webmaster@candle-night.org

〒106-0032 東京都港区六本木6-8-15 2F 大地を守る会内

Photo Credit

P002 上.小野寺宏友 P004 上.saiko camera 中.KIN YUKA 下.さっぽろの P005 上.saiko camera 中.koji 下.tommy